

## 企業体験型授業の実施（県内産業の理解促進）

### 概要

本県企業の理解促進を図るとともに、県内企業を選択する動機付けを行うため、本県の産業・企業を知るための産学官連携による企業体験型授業を実施した。

### 日程

令和5年8月22日（火）～8月25日（金）

### 科目名・講義内容

実施日	静岡県の産業 イノベーション	静岡県の産業 イノベーションⅡ	静岡県の産業 イノベーションⅢ
1日目	座学（@BiViキャン） ・ガイダンス ・本県の産業や企業の現状と課題 ・ワークショップ		
2日目	企業見学（西部地域） パイフォトニクス 増田採種場	企業見学（中部地域） 山崎製作所 生活協同組合ユーコープ 協和サンエンジニアリング	企業見学（東部地域） ファルマバレーセンター 東海部品工業 サントムーン柿田川
3日目	サーフスタジアムジャ パン牧之原 矢崎部品	いちまる C S A不動産	エステック ELFIE GREEN 沼津港市場 エイディディー
4日目	座学（@BiViキャン） ・ワークショップ ・実習の振り返り ・総括		



### 参加学生の感想（抜粋）

- ・あまり知ることのなかった県内の中小企業を知れてよかった。
- ・県内出身だが、知らなかったことも多く、多くの学びを得た。
- ・自分の目で企業を見て、直接話を聞いたのがよかった。

## 県内大学による取組への支援（県内大学による取組強化）

### 概要

県内大学等に通う学生の県内定着を促進するため、県内大学等が独自に行う学生の県内定着促進に向けた取組に対して助成を行った。

### 助成対象事業

- ア キャリア教育として行う就業体験を伴うプログラム
- イ 県内企業ガイダンス等
- ウ キャリア教育講義等
- エ 交流会・ワークショップ等
- オ 県内企業の見学・バスツアー等

### 募集期間

- 一次募集：令和5年5月11日（木）～6月23日（金）
- 二次募集：令和5年9月4日（月）～9月29日（金）

### 応募件数

5大学／7件

### 助成内容

	大学名	区分	内容
1	静岡福祉大学	ウ	「キャリア支援 I-B」科目における卒業生の社会人インタビュー
2	浜松学院大学	オ	静岡県内企業への見学バスツアー
3	静岡大学	イ	静岡県内で障害学生の採用計画のある企業によるガイダンス
4		ウ	障害学生の就職活動に関する講演
5		エ	障害学生に向けた県内企業との就職相談・交流会
6	静岡産業大学	エ	資格×キャリアによる学生と企業の交流会
			計



資格×キャリアによる学生と企業の交流会の様子

## キャリア教育プログラム【概要】

### 概要

キャリア形成に関心を持つ学生に向けた県内就職を考える機会として、主に大学生低学年を対象とした就業体験を含むキャリア教育プログラムを産学官で構築し、実施した。

### 目的

- ・ 将来を見据えた学生それぞれの勤労観及び職業観の育成
- ・ 県内企業の事業内容や業界についての理解を深め、県内就職へのイメージを深化

### 対象とする学生

県内大学に通う大学生、県内在住大学生（主に大学1、2年生）

### 参加学生数

15名（大学1年生3名、大学2年生12名）

### 日程

月	内容
令和6年1月	参加者募集（～1/31）
2月	参加者、実習先決定（～2/1）
3月	①事前学習 ・ 動画視聴（オンデマンド）（2/1～2/15） ・ 目標の設定共有（対面講義）（2/16） ②企業実習（2/19～3/1）全12社 ③事後学習（対面講義）（3/6）



## キャリア教育プログラム【参加学生内訳】

### 【学年×所属大学（人）】

学年	所属大学							計
	静岡大学	常葉大学	東海大学	静岡文化芸術大学	静岡県立大学	静岡産業大学	日本大学	
大学1年生	2	1						3
大学2年生	3	1	3	2	1	1	1	12

### 【学年×出身（人）】

	静岡県内	静岡県外	海外	計
大学1年生	2	1		3
大学2年生	8	3	1	12

### 【プログラムを知ったきっかけ（複数回答有）（人）】

- ・大学のキャリアセンター等から聞いた(8)
- ・大学教職員から聞いた(4)
- ・知人・友人から聞いた(3)
- ・チラシを見た(1)

### 【受講動機（複数回答有）（人）】

- ・自分のキャリア・進路・将来を考えたい(5)
- ・社会や会社について知りたい(3)
- ・就業体験や社員との交流に魅力を感じた(2)
- ・就活の準備がしたい(2)
- ・地元企業について知りたい(2)
- ・就職について学びたい(1)
- ・就職・就活に不安を感じているため(1)
- ・海外拠点を持つ企業について知りたい(1)

### 【実習日数・企業数（人）】

実習企業数	実習日数			計
	3日間		4日間	
	3日	1日+2日	1日+3日	
1社	7			7
2社		1	7	8

## キャリア教育プログラム【①事前学習（動画視聴）】

自分らしく働くことへの考え方や心構えを養う。

### 日程

令和6年2月1日（木）～2月15日（木）

### 方法

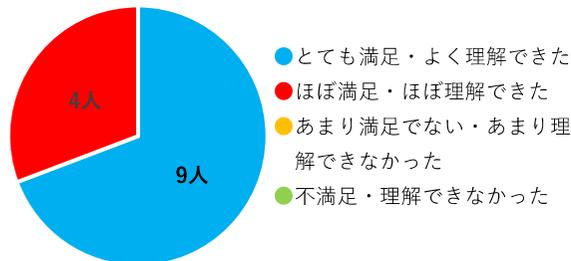
オンデマンド動画の視聴

### 内容・講師

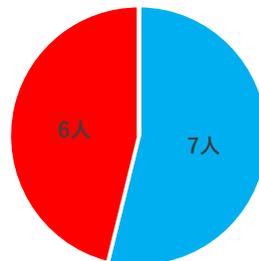
内容		講師
1 ガイダンス	・本プログラムの趣旨、目的 ・参加に当たっての心構え（ルール、マナー等）(10分)	事務局
2 講義&メッセージ	(1)社会で働くことへの理解と意識醸成（計45分） ①働く前に知っておきたい社会人の視点と考え方 ②本プログラムでの目標や仮説の立て方 ③本プログラムの自身のキャリア選択への活かし方	静岡大学学生支援センター キャリアサポート部門教授 宇賀田 栄次
	(2)参加者に期待すること～大学関係者～（10分）	静岡産業大学キャリア支援課統括課長 池ヶ谷 雅一
	(3)参加者に期待すること～企業関係者～（10分）	(株) サンロフト広報・マーケティング部部長 鈴木 あゆみ

### アンケート結果

社会で働くことへの理解と意識醸成

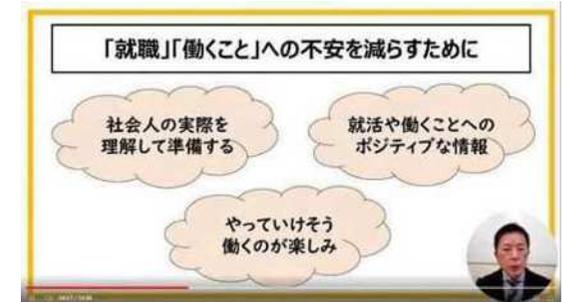


参加者に期待すること（大学・企業より）



#### 【受講者の感想】

- ・これまで知らなかった社会人のマナーを知ることができてよかった。
- ・学ぶことが多く、ためになる内容だった。



オンデマンド動画による講義の様子

## キャリア教育プログラム【①事前学習（対面）】

自分らしく働くことへの考え方や心構えを養う。

### 日 程

令和6年2月16日（金）14時～16時

### 場 所

静岡市産学交流センター B-nest（静岡市葵区御幸町）

### 内容・講師

テーマ	明確な目標や仮説を立て、実習や将来の不安を減らし、楽しみ度を増やす！
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実習先で着目・意識すべき点」、「社会人のマナー」、「学生と社会人との違い」等、企業実習の参加に当たってのポイントを知る。（講義）</li> <li>・講義やワークシートを基に参加学生それぞれが目標・仮説を立てて、グループ内で共有し、企業実習に対する意識を高める。（グループワーク）</li> </ul>
講 師	静岡大学学生支援センターキャリアサポート部門教授 宇賀田 栄次

### アンケート結果

企業実習の参加に当たってのポイント



目標・仮説の設定（グループワーク）



対面による事前学習の様子



#### 【受講者の感想】

- ・質問の仕方やマナー等、ポイントを掴んで教えてもらってよかった。
- ・自分で考える時間も仲間と交流する時間もあって理解がよく深まった。
- ・グループワークで他の参加学生と話せて嬉しかったし、実習に対する不安が和らいだ。

## キャリア教育プログラム【②企業実習】

- ・実際に働く社会人の姿に触れ、学生それぞれの勤労観や職業観を育てる。
- ・県内企業への理解を深め、県内で働くことへのイメージを膨らませる。

### 日程

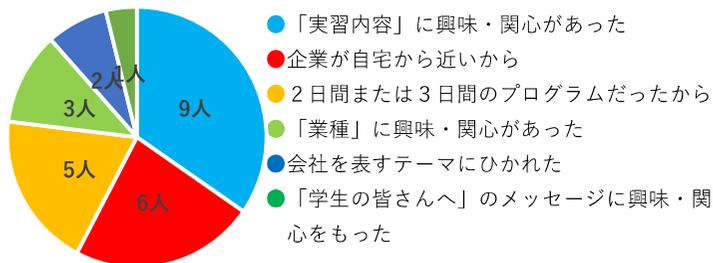
令和6年2月19日（月）～3月1日（金）※期間内で1人当たり3日間以上の企業実習に参加（複数企業における実習も可）

### 内容

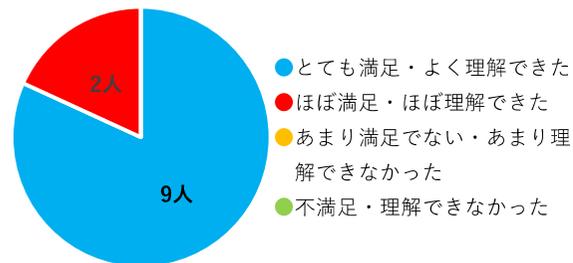
実習受入企業	12社（企業一覧は次頁）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標・仮説の共有（事前学習で立てた目標・仮説を企業と共有）</li> <li>○企業説明・見学 ○ジョブシャドウ ○就業体験 ○ケーススタディ</li> <li>○社員との交流会 ○記事作成 ○その他企業独自の取組</li> <li>●振り返り・成果の共有（実習を振り返り、企業からもフィードバックを行う。）</li> </ul> <p>※●は必須項目。その他の内容は、○の項目を参考に各企業で企画・実施</p>

### アンケート結果

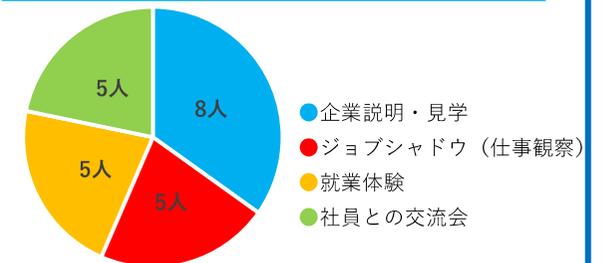
企業を希望した理由（複数回答有）



企業実習



参加して得るものが多かったプログラムの内容（複数回答有）



### 【受講者の感想】

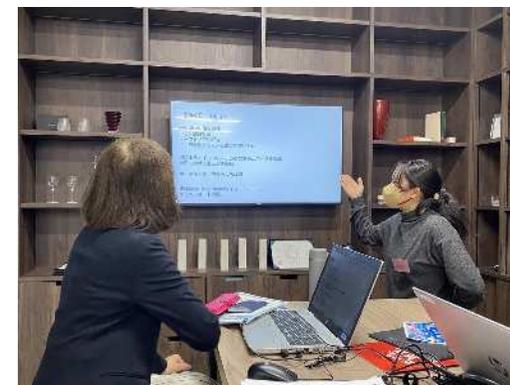
- ・会社に関する考え方が変わった。
- ・実際に社会に出ている方と関わり、社会人としての意識をどのように持つべきかということを知れた。
- ・地域の企業の良さや地域ならではの取組等、地元企業なのに知らないことを知ることが出来た。
- ・社会人がどんな仕事をして、どんなことを大切に働いているのかが実感できた。
- ・企業の方から直接、自分の良さをフィードバックしてもらい、自分の強みを知る良い機会となった。
- ・就職に対して良いイメージを持つことができた。

## キャリア教育プログラム【②企業実習】

- ・実際に働く社会人の姿に触れ、学生それぞれの勤労観や職業観を育てる。
- ・県内企業への理解を深め、県内で働くことへのイメージを膨らませる。

### 実習受入企業

	企業名	地域	業種	実習日数
1	コーケン工業(株)	西部(磐田)	製造業	1日間
2	(株)小林製作所	東部(富士)	製造業	1日間
3	(株)近藤鋼材(渡邊鐵工所)	中部(藤枝)	鉄鋼業	3日間
4	丸福製茶(株)	中部(静岡)	製茶業	3日間
5	村田ボーリング技研(株)	中部(静岡)	製造業	3日間
6	しずおか焼津信用金庫	中部(静岡)	金融業	2日間
7	(株)長坂養蜂場	西部(浜松)	食品小売業	1日間
8	(株)サンソフト	中部(焼津)	情報通信業	3日間
9	(株)共立アイコム	中部(藤枝)	製造業	3日間
10	静清信用金庫	中部(静岡)	金融業	1日間
11	ソフトプレン工業(株)	西部(浜松)	製造業	3日間
12	(株)静鉄ストア	中部(静岡)	食品小売業	3日間



企業実習の様子

## キャリア教育プログラム【③事後学習】

実習を振り返り、今後の自身のキャリアを考える。

### 日 程

令和6年3月6日（水）13時30分～15時30分

### 場 所

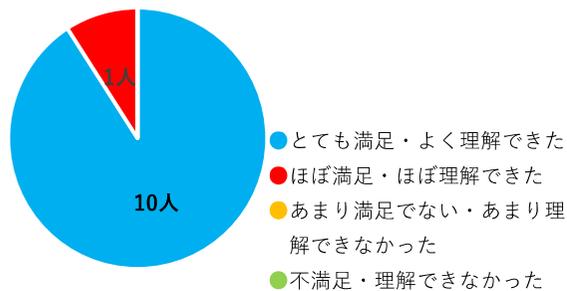
静岡市産学交流センター B-nest（静岡市葵区御幸町）

### 内容・講師

テーマ	キャリア教育プログラムの成果を言語化し、他者に論理的に伝える！
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業実習を振り返り、目標・仮説に対してどんな行動ができたか自己評価を行う。</li> <li>・自己評価の内容の共有を図り、他の参加学生や受入企業参加者等からフィードバックをもらう。</li> <li>・フィードバックの内容を基にプログラム全体の成果や気づきを言語化して、他者と共有する。</li> </ul>
講 師	静岡大学学生支援センター キャリアサポート部門 教授 宇賀田 栄次
企業・大学参加者	(株)小林製作所、村田ボーリング技研(株)、しずおか焼津信用金庫、(株)サンロフト、(株)共立アイコム、ソフトプラン工業(株)、静岡文化芸術大学キャリア支援室、静岡産業大学キャリア支援課

### アンケート結果

#### 事後学習全体



#### 【受講者の感想】

- ・他の企業に行った人と互いに情報共有でき、自分が体験した以上の発見が多々あった。
- ・企業に行った後にグループワークをすることで、自分の考えや別の視点が見えた。
- ・同じような悩みを持つ同世代の人と学ぶことができた。

#### 【企業・大学参加者の声】

- ・参加学生のグループワークに入ることで、企業側も多くの刺激を受けることができた。
- ・参加学生と双方向のコミュニケーションを取ることができ、多くの発見や学びを得ることができた。

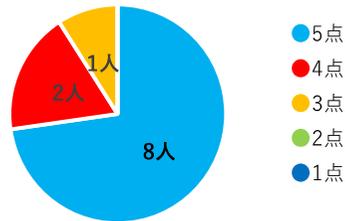


事後学習の様子



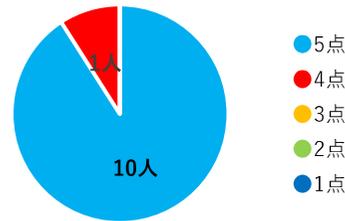
## キャリア教育プログラム【参加学生アンケート結果】

今回のプログラム全体への満足・理解度



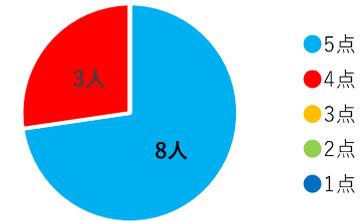
- ・事前にマナー等を学習した上で実習に臨んだり、企業の話の聞いたりして、他ではできない経験ができた。
- ・就職についてわからないことが不安で参加したが、様々なことを学ぶうちに、就職に対して明るいイメージを持つことができた。
- ・自分の働いている姿を想像することができ、実りのあるプログラムとなった。

自分のキャリアを考える機会になったか



- ・今まで考えていた業種以外の業種についても考えるきっかけになった。
- ・異なる業種であっても、大切なことや意識することは同じであるという新しい考えに繋がった。
- ・企業で働く社会人に直に接することで、モチベーションがあがった。
- ・企業へのイメージがポジティブに変わり、もっとインターンシップに参加してみたいと思えた。

静岡県内での就職を考える機会になったか



- ・県内企業にプラスのイメージを持っておらず、上京することを考えていたが、県内企業だからこそ良さ等を知ることができ、県内就職の選択肢を持つことができた。
- ・自分が知らなかった地元企業を知ることができた。どの企業も誇りを持って仕事をしている姿を見て、自分もそうなりたと思った。
- ・地元で働きたい思いがありよい経験になった。

## 参加学生の感想

### <事後学習ワークシートより抜粋>

- ・企業実習で学んだことを他の参加学生と話したり、同じ立場の参加学生や社会人の方からフィードバックをもらうことで、自分の考えや思ったことを整理することができた。
- ・社会人や企業の見方が変わった。実習先ではどの人も明るく、立場関係なく企業をより良くするために努力している姿勢が伝わってきた。
- ・グループワークで他の参加学生の意見を聞くことで、色々な考え方や見方を知る機会となった。
- ・企業のことを知ると同時に、自分のことをもっと知ることができた。このプログラムに参加して成長することができてよかった。
- ・「県内にも魅力的な企業が多い」とか「もっといろいろな静岡の企業を知りたい」という声を多く聞いた。自身も静岡の企業に多くの魅力を感じたし、就職してみたいという気持ちが増した。

## 企業体験型授業の実施（県内産業の理解促進）

### 概要

本県企業の理解促進を図るとともに、県内企業を選択する動機付けを行うため、本県の産業・企業を知るための産学官連携による企業体験型授業を実施する。

### 内容

科目	静岡県の産業 イノベーション	静岡県の産業 イノベーションⅡ	静岡県の産業 イノベーションⅢ	【新規】静岡県西部地域の特性と産業
概要	県内企業の事例を参考に、本県の産業イノベーションについて実践的に学習する。			西部地域の特性と産業の課題を踏まえ、企業や団体の生産・活動現場で事例調査を行い、地域の抱える課題やその解決方法、未来の展望について学ぶ。
地域	西部地域	中部地域	東部地域	西部（浜松）地域
日程	令和6年8月20日（火）～23日（金）			令和6年9月17日（火）、20日（金） 24日（火）、25日（水）
参加学生	県内大学（単位互換協定校）生各20人			県内大学（単位互換協定校）生15人

## 県内大学による取組への支援（県内大学による取組強化）

### 概要

県内大学等が独自で行う学生の県内定着促進に向けた取組を支援する。

### 募集期間

令和6年5月1日（水）～5月31日（金）

### 助成件数

3校程度（予算の範囲内で助成）

### 助成対象事業

※複数の組合せ可、合計上限額500千円

助成対象事業	助成上限額
ア キャリア教育として就業体験を伴うプログラム	200千円
イ 県内企業ガイダンス等	150千円
ウ キャリア教育講義等	150千円
エ 交流会・ワークショップ等	150千円
オ 県内企業の見学・バスツアー等	300千円

## 概要

### <目的>

キャリア形成に関心を持つ学生に向けた県内就職を考える機会の創出

- ・ 将来を見据えた学生それぞれの勤労観及び職業観の育成
- ・ 県内企業の事業内容や業界についての理解を深め、県内で就職することへのイメージを深化

### <対象とする学生・参加者数>

県内大学に通う大学生、県内在住大学生  
(主に大学1、2年生) 30人程度

#### 《ターゲット》

将来社会で働くことや就職活動に不安や心配を抱えている学生

### <募集方法>

- ・ コンソーシアムが各大学を通して募集  
(受入企業の情報をコンソーシアムHPに掲載)
- ・ 県HPや新聞、SNS等を広く活用

### <日程>

月	内容
5月	新規実習受入企業依頼
6月	第1回キャリア教育検討会議(6/5) 参加学生募集(6/12~7/8)
7月	参加学生決定(7/16までに) プログラム開始(7/16~9/12) ①事前学習(オンデマンド)(7/16~8/9)
8月	①事前学習(対面)(8/8) ②企業実習(8/19~9/10)
9月	③事後学習(対面)(9/12)

### <実習受入企業>21社(6/3時点)

企業それぞれが持つ特徴・強みに合致した企業群に分類し、提示(いずれの企業群とするかは企業にて選択。複数選択可)

#### オンリーワンを目指す企業

- ~ものづくり、BtoB等~
- ・ 近藤鋼材
  - ・ 吉村静岡営業所
  - ・ 浜名梱包輸送

#### 多様な人材の活躍を実現する企業

- ~若手が活躍、人材育成に熱心等~
- ・ 村田ボーリング技研
  - ・ コーケン工業
  - ・ ソフトプレン工業
  - ・ 女将塾

#### 地域と共に歩む企業

- ~地域を牽引、支える等~
- ・ 丸福製茶・サンロフト
  - ・ しずおか焼津信用金庫
  - ・ ELFIE GREEN・喜久多
  - ・ 静清信用金庫
  - ・ 共立アイコム・静鉄ストア
  - ・ トヨタユナイテッド静岡
  - ・ 長坂養蜂場・沼津信用金庫
  - ・ ニッケン消毒

#### 世界とつながる企業

- ~海外拠点を持つ、グローバル等~
- ・ 駿河生産プラットフォーム
  - ・ 小林製作所

# 令和6年度静岡県キャリア教育プログラム(夏期)案

資料3-2

	①事前学習	②企業実習	③事後学習															
日程	I 令和6年7月16日～8月7日 (動画視聴) II 令和6年8月8日 (対面形式)	令和6年8月19日～9月10日 (うち、3～5日間)	令和6年9月12日 (対面形式)															
内容	<b>1 ガイダンス&amp;メッセージ</b> <table border="1"> <tr> <td>ガイダンス ・趣旨・目的 ・参加に当たっての心構え</td> <td>事務局</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>メッセージ ～参加者に期待すること～ ・地域で働くことの意義 ・企業実習で意識してほしいポイント ・参加者へのエール</td> <td>静岡産業大学 池ヶ谷課長 (株)サンロフト 鈴木部長</td> <td>各10分</td> </tr> </table>	ガイダンス ・趣旨・目的 ・参加に当たっての心構え	事務局	5分	メッセージ ～参加者に期待すること～ ・地域で働くことの意義 ・企業実習で意識してほしいポイント ・参加者へのエール	静岡産業大学 池ヶ谷課長 (株)サンロフト 鈴木部長	各10分	<b>○実習期間</b> 1社当たり1～3日間の実習とし、参加学生1人当たり計3～5日間の実習期間とする。(複数の企業の組合せを推奨する。)  <b>○実習内容</b> ●参加学生と企業との目標の共有 (必須) 企業の状況や参加学生の意向等に応じて、以下の内容を複数組み合わせる。 ●企業説明・見学 ●ジョブシャドウ ●就業体験 ●課題解決ワーク ●社員との交流会 ●その他企業独自の取組  ●振り返り・成果の共有 (必須) ●企業からのフィードバック、エール (必須)  ※参加学生が能動的に起業や働く人と接する機会や、人と人・人と地域とのつながりを意識した内容を重視する。	<table border="1"> <tr> <td> <b>1 企業実習の振り返り(個人)</b>                              ・目標は達成でき、仮説は検証できたか。                              ・自身の今後の生活にどのように活かすか。                         </td> <td rowspan="5">静岡大学 宇賀田教授</td> <td rowspan="5">120分</td> </tr> <tr> <td> <b>2 プログラムの成果の発表・共有</b>                              ・1の内容の発表・共有 (個人発表)                         </td> </tr> <tr> <td> <b>3 参加者へのフィードバック</b>                              ・講師や他の参加学生からのフィードバック                              ・実習受入企業関係者及び検討会議委員からのコメント                         </td> </tr> <tr> <td> <b>4 まとめ</b>                              ・プログラム全体の統括                              ・今後の学生生活や就職活動、キャリア形成に向けたエールや展望                         </td> </tr> <tr> <td> <b>5 参加学生と企業との交流</b>                              ・参加学生と実習受入企業関係者とのネットワーキング                         </td> <td>事務局</td> <td>30分</td> </tr> </table>	<b>1 企業実習の振り返り(個人)</b> ・目標は達成でき、仮説は検証できたか。 ・自身の今後の生活にどのように活かすか。	静岡大学 宇賀田教授	120分	<b>2 プログラムの成果の発表・共有</b> ・1の内容の発表・共有 (個人発表)	<b>3 参加者へのフィードバック</b> ・講師や他の参加学生からのフィードバック ・実習受入企業関係者及び検討会議委員からのコメント	<b>4 まとめ</b> ・プログラム全体の統括 ・今後の学生生活や就職活動、キャリア形成に向けたエールや展望	<b>5 参加学生と企業との交流</b> ・参加学生と実習受入企業関係者とのネットワーキング	事務局	30分
	ガイダンス ・趣旨・目的 ・参加に当たっての心構え	事務局	5分															
	メッセージ ～参加者に期待すること～ ・地域で働くことの意義 ・企業実習で意識してほしいポイント ・参加者へのエール	静岡産業大学 池ヶ谷課長 (株)サンロフト 鈴木部長	各10分															
	<b>1 企業実習の振り返り(個人)</b> ・目標は達成でき、仮説は検証できたか。 ・自身の今後の生活にどのように活かすか。	静岡大学 宇賀田教授	120分															
<b>2 プログラムの成果の発表・共有</b> ・1の内容の発表・共有 (個人発表)																		
<b>3 参加者へのフィードバック</b> ・講師や他の参加学生からのフィードバック ・実習受入企業関係者及び検討会議委員からのコメント																		
<b>4 まとめ</b> ・プログラム全体の統括 ・今後の学生生活や就職活動、キャリア形成に向けたエールや展望																		
<b>5 参加学生と企業との交流</b> ・参加学生と実習受入企業関係者とのネットワーキング	事務局			30分														
<b>2 講義 (動画視聴)</b> <table border="1"> <tr> <td>社会で働くことの理解と意識醸成 ・働く前に知っておきたい社会人の視点と考え方 ・目標や仮説の立て方 ・キャリア選択への活かし方</td> <td>静岡大学 宇賀田教授</td> <td>計60分</td> </tr> </table>	社会で働くことの理解と意識醸成 ・働く前に知っておきたい社会人の視点と考え方 ・目標や仮説の立て方 ・キャリア選択への活かし方	静岡大学 宇賀田教授	計60分	<b>3 対面講義、グループワーク</b> <table border="1"> <tr> <td>(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴</td> <td>静岡産業大学 小泉教授</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達</td> <td>静岡大学 宇賀田教授</td> <td>120分</td> </tr> </table>	(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴	静岡産業大学 小泉教授	60分	(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達	静岡大学 宇賀田教授	120分	※実習受入企業関係者及び検討会議委員にも出席いただく。							
社会で働くことの理解と意識醸成 ・働く前に知っておきたい社会人の視点と考え方 ・目標や仮説の立て方 ・キャリア選択への活かし方	静岡大学 宇賀田教授	計60分																
(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴	静岡産業大学 小泉教授	60分																
(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達	静岡大学 宇賀田教授	120分																
<table border="1"> <tr> <td>(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴</td> <td>静岡産業大学 小泉教授</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達</td> <td>静岡大学 宇賀田教授</td> <td>120分</td> </tr> </table>	(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴	静岡産業大学 小泉教授	60分	(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達	静岡大学 宇賀田教授	120分	事務局	30分										
(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴	静岡産業大学 小泉教授	60分																
(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達	静岡大学 宇賀田教授	120分																
<table border="1"> <tr> <td>(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴</td> <td>静岡産業大学 小泉教授</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達</td> <td>静岡大学 宇賀田教授</td> <td>120分</td> </tr> </table>	(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴	静岡産業大学 小泉教授	60分	(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達	静岡大学 宇賀田教授	120分	事務局	30分										
(1)静岡県の産業(仮) ・本県の産業や企業の特徴	静岡産業大学 小泉教授	60分																
(2)目標の設定 ・参加学生のモチベーション向上や仲間づくり ・参加学生それぞれの目標・仮説の設定 ・「実習先で着目すべき・意識すべき点」等の伝達	静岡大学 宇賀田教授	120分																

静岡で働く人に触れて、  
自分のキャリアについて考えてみましょう！

／ 静岡県キャリア教育プログラム 夏期 ／

# 参加者募集!

## 対象

県内大学に通う  
**1・2**年生

## 実施時期

令和6年  
**7**月～**9**月

## 参加費

**無料**

(各会場への交通費は自己負担)

※全日程の参加が必要です

こんな学生を募集しています!

- ✓ 就活や働くことに不安を持っている。
- ✓ 就活に向けて何をしたら良いかわからない
- ✓ どんな業種・業界で働こうか悩んでいる。
- ✓ 就職活動前に企業で働く人と関わりたい!
- ✓ 県内にはどんな企業があるかを知りたい!

※令和6年度は、春期（令和7年2月）にも開催を予定しています。



「働く」を一緒に考えてみませんか？

募集人数  
**30**人

プログラム日程 ※内容は変更となる可能性があります。

事前学習

令和6年  
**① 動画オンデマンド視聴 X/Xx xx**

ガイダンス | 大学関係者や企業からのメッセージ | 講義（「社会で働くことの理解と意識醸成」など）



令和6年  
**② 対面学習**

令和6年

**8/8**木

13時15分～  
16時30分

@静岡市産学交流センターB-nest

（静岡市葵区御幸町3番地の21ペガサート6・7F）

静岡県の産業（仮） 講師：静岡産業大学経営学部教授 小泉 祐一郎

目標・課題の設定 講師：静岡大学学生支援センター教授 宇賀田 栄次

企業実習

令和6年

**8/19**月～**9/10**火の中で**3～5**日間 @各受入企業

▼企業一覧▼



企業説明・見学/ジョブシャドウ(職場観察)/就業体験/社員との交流会など、企業ごとの内容

※実習可能な企業の一覧は、HPに掲載しています。その中から、自分で実習が合計3～5日間になるように企業を選択することができます。(実習先は複数(1～2)企業とすることを推奨します)

事後学習

令和6年

**9/12**木

13時30分～  
16時00分

@静岡市産学交流センターB-nest

（静岡市葵区御幸町3番地の21ペガサート6・7F）

講師：静岡大学学生支援センター教授  
宇賀田 栄次

振り返り | 成果の発表・共有 | 参加者へのフィードバック | 企業との交流



申込は  
こちらから！  
(コンソーシアムHP)



申込み期限

**X月X日(X)**

様々な強みを持つ企業と触れ合えます

- オンリーワンを目指す企業（ものづくり企業、BtoB企業等）
- 多様な人材の活躍を実現する企業（若手が活躍する企業、人材育成に熱心な企業等）
- 地域と共に歩む企業（地域を牽引する企業、地域の企業や人を支える企業等）
- 世界とつながる企業（海外拠点をもつ企業、グローバルな事業領域を展開する企業等）

令和5年度参加学生の感想（抜粋）

他の企業に行った人と互いに情報共有し合うことができ、自分が体験したこと以上の発見が多々ありました。

事前学習、事後学習があったため、同じような悩みを持つ同世代の人と、企業実習での学びにつなげる、振り返ることができました。

その他の参加学生の感想はこちらから▶▶



R5開催状況はこちらから▶▶

